

環境浄化のための光触媒材料の開発技術

天野 史章

エネルギー循環化学科 准教授

【キーワード】 有機汚染物質の分解除去、水質浄化、室内の空気清浄、可視光応答性光触媒

【研究概要】

酸化チタン(TiO_2)光触媒は、有機汚染物質を分解除去する能力に優れており、水質浄化や空気清浄などに実用化されている。しかし、紫外光照射下でしか機能しないことが問題であり、可視光も利用できる高活性光触媒の開発が望まれてきた。本研究では、タングステン酸ビスマス光触媒の高活性化を実現し、可視光照射下での有機物分解を実証した。

